

社協だより

泉区版

せんだい vol.16

令和4年12月1日発行



人と地域を笑顔でつなぐ

主な内容

- 特集 みんなの"ai"でつながる地域
～地域福祉セミナー開催報告～ P2
社協×大学 一緒につくる「安心して暮らせる地域社会」
～ボランティア活動の連携・協力に関する協約～ P4
社協の活動を発信しています!
～SNS活用による広報活動～ P5

泉区事務所からのお知らせ

- ともに生き、支えあうまちづくり
～泉区内地区社会福祉協議会の活動紹介～ P6
子どもも保護者も笑顔になる居場所づくり
～子ども食堂 kosune長命ヶ丘～ P7
令和5年度『福祉事業振興助成金』
助成団体を募集します P7

今号の写真 若林区民ふるさとまつりにて
社協ブースを訪れた方に第5次地域福祉
活動計画(せんだいaiプラン)の基本理念
を表現いただきました!

社会福祉協議会(社協)とは

「地域福祉の推進」を図ることを目的とした団体です。仙台市社会福祉協議会は「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念とし、地区社会福祉協議会や町内会、福祉団体・施設、ボランティア等の協力をいただきながら、行政機関等と連携してさまざまな福祉事業を進めていきます。



この「社協だより せんだい」は赤い羽根共
同募金の配分を受けて発行しています。

特集

みんなの

“ai”で

つながる地域

第20回地域福祉セミナー

「みんなの“ai”でつながる地域」

回文うちわをきっかけに・・・

『今までの関わりが点と点だったのが
横の繋がりにつながった』

令和4年11月2日、第20回の節目となる地域福祉セミナーを開催しました。

本セミナーでは、「多様な主体の連携・協働」に焦点を当て、地域においてさまざまな個人・団体がつながり合って展開される活動実践や、多様な主体が連携・協働するために必要な視点について学びました。

実践報告

多様な主体の連携・協働による地域づくり

中学生が立ち上げた
ボランティア団体と
地域のつながり

青葉区錦ヶ丘地区

ちよこボラ 錦ヶ丘中学校 生徒
錦ヶ丘地区社会福祉協議会
地域福祉活動推進員 立花 幸賢 氏

公園にタバコの吸い殻が落ちていたことをきっかけに、錦ヶ丘中学校の生徒2名が、ゴミ拾いボランティアサークル「ちよこボラ」を立ち上げました。小学4年生から高校3年生までの子どもたちによる活動で、錦ヶ丘地区内の公園で清掃活動を行っています。ちよこボラの活動をバックアップするのは、錦ヶ丘地区社協。活動へのアドバイスや道具の確保などを支援しています。



地域の気づきから始まつた
誰もが集える場づくり

太白区中田地区

中田地区社会福祉協議会
役員 鈴木 和子 氏
西中田地域包括支援センター
生活支援コーディネーター

関 淑子 氏

地区社協研修会での「地域内活動について意外と知らないことも多い」という気づきから、集いの場の情報冊子を作成しました。冊子を作成したことで、人と人のつながりの大しさ、よりどころの大切さを再認識し、集いの場「よりどころにここに広場」を立ち上げることになりました。

「世代や障害の有無を問わず、誰でも気軽に集うことができる集いの場」をコンセプトに、参加者が同じ空間の中で、体操、折り紙、カードゲームなど、様々な活動や会話をしながら、それぞれに好きな形でみんながつながることのできる場所とができる場所となっています。



商店街の店舗から 始まつた子どもたち “まん中”の地域連携

若林区荒町地区

荒町商店街振興組合

副理事長

庄子 康一 氏

荒町児童館

(特定非営利活動法人ワーカーズコープ)

主任 阿部 早希子 氏



商店街と荒町児童館・荒町市民センターなどが中心となり、荒町学区の防犯意識を高める「荒町子まもりプロジェクト」という活動が行われています。

2008年に地域の1つの理容室から始まつた活動でしたが、現在では14団体26名に広がり、地域を包む大きなネットワークとなっています。それぞれの団体の強みを生かしながら、「子まもりハロウイン」や「回文うちわ」など様々な活動を行うことで、大人と子どもの顔が見える関係がつくられるとともに地域への愛着が深まり、あたかく安心して生活でいきます。

総括講演

多様な主体の連携・協働のために
「みんなをつなぐ物語」という伝え方

—特定非営利活動法人いわて連携復興センター 代表理事 葛巻徹氏

地域活動の役割

地域活動は、行政も企業も対応できない課題に柔軟に対応することができます。地域活動を行う皆さん(以下、活動者)が、「地域にこのような課題があるよ」という情報と「こうすれば解決できると思う」という情報を発信し、活動者の想いに共感する個人・組織・団体などから、資源(人や専門性、サービス等)を集め、地域社会の課題の解決を促進していくことが、地域活動の役割と言えます。

物語(ストーリー)を 伝える上で大切なこと

物語を伝える上で重要なのは、ただ「こういった人がこういった活動をしている」という内容だけではなく、「なぜその行動をして何が変わったのか」と「その行動によって何が変わったのか」ということになります。具体的には、①主人公(活動者本人)が、どのような困難を抱えていたのか②それを克服するためにどのような選択をしたのか③それによって、どのような結果が生まれたのか、ということを筋立てて伝えることです。

みんなの共感を引き出す 物語(ストーリー)

活動者は、自分自身の利益に直結しなくとも、「自分の住む地域をよくしたい」など、それぞれに想いをもつて活動を行っています。そして、想いを伝えるため大切なものが、「物語(ストーリー)」になります。



本セミナーの内容は、本会ホームページ及びFacebookでもご紹介していますので、ご覧ください

ホームページ



Facebook



この特集に関するお問い合わせは、地域福祉課地域福祉係☎223-2026

社協×大学

～ボランティア活動の連携・協力に関する協約（パートナーシップ協約）～

本会では現在、在仙の大学9校と「ボランティア活動の連携協力に関する協約」（以下「パートナーシップ協約」）を締結しています。

パートナーシップ協約とは、本会と大学で連携して若者の力を最大限に活かしながら、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会づくりを進めていくことを目的に締結している協約です。これまでにも、パートナーシップ協約締結大学の学生と連携して、災害ボランティアや届けるボランティア活動など、さまざまな活動を一緒にすすめています。



災害ボランティアセンター設置運営訓練の様子



実際に令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震の際には、仙台市ボランティアセンターからパートナーシップ協約締結大学に協力を依頼し、個人宅の倒れられた家具の片付け等を行なつていただきました。

東北大学
高度教養教育・
学生支援機構

パートナーシップ
協約
仙台市
社会福祉協議会

東北工業大学

宮城学院
女子大学

東北福祉大学

東北学院大学

東北生活文化大学
・同大学短期大学部

東北文化学園
大学

災害ボランティア

本会主催の災害ボランティアについて学ぶ「災害ボランティアセンター運営サポーター養成講座」の受講や、各区支部で実施している「災害ボランティアセンター設置運営訓練」にスタッフとして参加することで、多くの学生が、いつ起きたてもおかしくない災害に備えて活動しています。

また、令和4年7月15日の豪雨災害でも、多くの学生が自主的に被災地である松島町に足を運びボランティア活動に参加しました。

学生と企業の ボランティア活動 情報交換会

学生と企業が一緒にできる社会貢献活動を考える場として開催した情報交換会。多くの学生や企業が参加し、「子どもたちと遊ぶサークル活動の経験を活かして…」や「企業で所有している土地を利用して…」等それぞれの立場だからこそ視点を持ち寄ることで、多種多様なアイデアが誕生しました。

参加した学生からは「他の大学だけでなく企業の活動も知れて方からは「若者のパワーやアイデアに触れることができて刺激を受けた」等の感想をいただき、学生と企業が相互に良い影響を受け、今後の活動につながる情報交換会となりました。

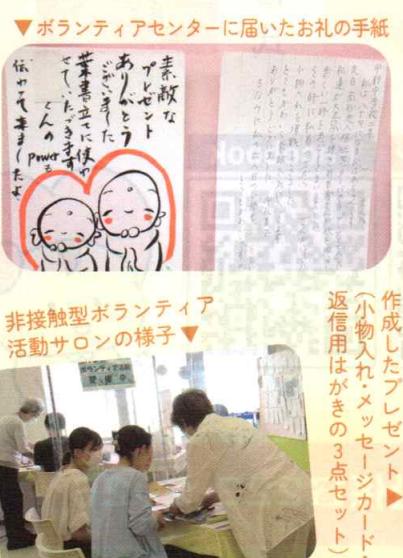
仙台市ボランティアセンターでは、情報交換会で出されたアイデアをもとに企画した「カツプラーメンアレンジレシピ選手権」を、11月26日のボランティアフォーラムにて実施しました。フードドライブで集まつた食材を利用した、子ども食堂で提供できるオリジナルレシピを考え、楽しみながら社会貢献活動を体験できる企画となりました。

会えなくてもつながれる 届けるボランティア活動

現在、毎月第1・3土曜日に「非接触型ボランティア活動サロン」を開催中です。コロナ禍で孤立しがちな地域の高齢者等に向けて、手作りの小物入れとメッセージカードを作成し、届けるボランティア活動を行っています。

活動には、パートナーシップ協約締結大学の学生が多数参加しており、コロナ禍で若者と地域の交流の場が減少している今日、実際に会えなくても、プレゼントやWEBを通して、地域に元気と活力を与えていきます。

仙台市ボランティアセンターでは、情報交換会で出されたアイデアをもとに企画した「カツプラーメンアレンジレシピ選手権」を、11月26日のボランティアフォーラムにて実施しました。フードドライブで集まつた食材を利用した、子ども食堂で提供できるオリジナルレシピを考え、楽しみながら社会貢献活動を体験できる企画となりました。



非接触型ボランティア活動サロンの様子



地域の福祉情報や



本会の活動をいち早くお伝えします

ダンスをご覧いただけます。この動画は仙台百合女子大学、仙台百合学園小学校に協力いただき作成されました。

ぜひ、地域やご自宅で動画をご覧になりながら、歌つて踊つて楽しんでいただけたらと思います。

また、本会若林区事務所が発信する地区社会福祉協議会の活動紹介では、いきいきとした地域活動の様子を、動画を通してご覧いただけます。「チャンネル登録」で本会の事業や地域活動情報の発信の応援、よろしくお願ひします。

本会では公式SNSとして、YouTubeチャンネルとFacebookページを開設しています。公式SNSを通じて、本会や市内の各地区社会福祉協議会、町内会、NPO・ボランティアなどの取り組みについて情報発信し、市民の皆さんにお住まいの地域に関心を持っていただき、地域の福祉活動等に参加するきっかけとなってくれたら…という思いで開設しました。

本紙「社協だよりせんだい」や本会公式ホームページでは伝えきれない主催事業の様子、各地域で行われている福祉活動の情報をリアルタイムで皆さんにお届けしていく予定です。

YouTubeチャンネル 「せんだい社協チャンネル」



せんだい社協チャンネル



せんだい社協チャンネルで検索

本会が運営するFacebookページの一覧をホームページに掲載しています。



仙台市社会福祉協議会
Facebookページ紹介

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/n/aboutus/shakyo/facebook>

Facebookページ

公式Facebookページは「仙台市社会福祉協議会」名の代表ページのほかに、各区・支部事務所のページを開設しています。代表ページでは、本会主催事業の記事を投稿したり、各区・支部事務所のページに投稿された内容をシェアしたりしています。また、各区・支部事務所のページでは、地域のサロン活動やボランティア団体の活動の様子、区民まつりの話題など、その地域ごとで行われている活動や行事について投稿しています。詳しくは、本紙7ページ掲載のQRコードをスキャンし、ぜひ実際にFacebookページをご覧ください。

公式YouTubeチャンネル「せんだい社協チャンネル」は去年の12月に開設し、現在は17本の動画を公開しています。なかでも「第5次地域福祉活動計画(せんだいアートプラン)」のシンボルムームービーとダンス動画が人気となっています。シンボルムービーで流れるオリジナル応援ソング「アイシェアリング」は、宮城県在住の地域密着型アーティストであるアサノタケフミ氏による曲(歌・作詞・作曲)です。ダンス動画では、その曲にあわせた

ともに生き、支えあうまちづくり

～泉区内地区社会福祉協議会の活動紹介～

高森東地区社会福祉協議会

高森東地区社会福祉協議会は、泉パークタウン高森地区東部の5町内会の会長・副会長が役員メンバーとして活動しています。主な活動として、2つのボランティア団体によるサロン活動、各町内会の班長による福祉協力員としての班内の見守り活動、地区社協活動の周知のための「高森東地区社協だより」の発行を行っています。

ボランティア団体のうち、「ボランティアもくれん」は5町内会の集会所を拠点に高齢者対象のサロン活動を行い、フレイルが話題にあがると密にならないよう

公園等での散歩や屋外サロンと、0～1歳のお子さんとその保護者を対象としてサロン活動を行っています。コロナ禍で活動は制約されながらも、回数を減らす、時間を短縮する等の工夫を重ねて、サロンや声掛け、見守り活動を実施しています。昨年夏には、合同サロン「夕涼み野外コンサート」を開催し、チエロとコン

トラバスのデュオユニット「伊達Loops」の演奏とトークを大勢の方に楽しんでいたきました。今年度も外部講師の方による研修会等、内容に工夫を取り入れながら、「ワイズコロナ」の環境の中でも地域の皆さんに安心して参加して頂けるよう、継続した活動を推進していきたいと思います。
(高森東地区社会福祉協議会 小川登会長より寄稿いただきました。)

ぴよママ♪クラブ



▲ミニコンサートを楽しむ親子



ボランティアもくれん



▲森林インストラクターと公園散策

住吉台地区社会福祉協議会

住吉台地区社会福祉協議会では、小学生の頃から福祉に関心を持つもらおうと、住吉台小学校4年生の総合学習に福祉の学習会を取り入れることを提案し協力をしています。5年目となる今年は、「目の不自由な方の暮らし」「認知症サポート講座」「口コモ体操」「高齢者疑似体験」「車いす体験」「車いす生活者の体験談を聞く」と6回にわたる学習会に挑戦しました。この盛りだくさんの学習会に、子どもたちは目を輝かせながら一生懸命に取り組んでいました。

『第53回ふれあいサロン』を開催

去る7月3日、住吉台小学校体育館を会場に「第53回ふれあいサロン」を開催しました。このコロナ禍で、100名近くも集まるイベントを実施するか否か議論を重ね、やっと開催することができました。

3年ぶりの開催となつた今年は、サツクスピアーノの生演奏に多くの方が聴き入りました。また、楽しいトークとイントロ当てクイズ、軽運動など、久しぶりのサロンに会場の皆さんが一つになつて楽しむことができました。「久しぶりに楽しい時間を過ごした」と笑顔で帰る高齢者の皆さんのが声に「開催して良かった」とスタッフ一同も笑顔になりました。

コロナ禍ではあります、が、感染予防対策をしっかりとして、皆さんの笑顔が見えるイベントをこれからも開催していきたいと思



車いす体験で
小学生
疑似スロープを登る

(住吉台地区
社会福祉協議会
浜岡みち子会長より寄稿いただきました。)



「ふれあいサロン」で軽体操を楽しむ参加者



子どもも保護者も笑顔になる居場所づくり

～子ども食堂 kosune長命ヶ丘～

泉区長命ヶ丘を中心に配食を行う「子ども食堂kosune長命ヶ丘」は、コロナ禍ではフードパントリー（誰でも食品を受け取れる場所）での開催となっています。配食会場では参加型イベントを実施しており、毎回さまざまな趣向の『アート』『スポーツ』『ひもトレ』などで盛り上がります。8月には、子どもたちの手のひらにインクを付け、2m×1mのボード2面へ花や花火を描写するというコーナーを設けました。新聞等メディアにも取り上げられ、学生ボランティアの皆さんもその出来栄えに感動していました。そのほかにもパラリンピック競技種目のボッチャを子どもたちと楽しんだりと、いつも笑顔が絶えません。



こども・スポーツネットワーク（略称：kosune）では、子ども食堂の運営スタッフ、ボランティアを募集しています。当団体は「認めて・ほめて・励まし・勇気づける」をテーマに以下の活動を行っています。

活動内容	活動日	会場
子ども食堂運営	月1回日曜日	BRANCH内まちスポ
無料バスケットボール教室	毎週土曜日17時～	長命ヶ丘小学校体育館

詳しくはkosuneのホームページ(<https://kodomo-sports-network.tls-sendai.com/>)をご覧ください。

令和5年度『福祉事業振興助成金』助成団体を募集します

誰もが住みやすい地域で、心豊かに安心して暮らし続ける「地域福祉」を実現していくことを目的として、泉区民の方々などから寄せられた寄附金を財源に、さまざまな福祉活動に助成します。

対象 1 泉区内の地区社会福祉協議会

対象 2 泉区内のボランティア団体・市民活動/NPO団体

※②は区事務所・地区社会福祉協議会と連携して取り組む事業が対象です。

※詳細については、募集要項をご確認ください。募集要項は令和5年1月頃から、泉区事務所にて配布予定です。また、本会のホームページ(<http://www.shakyo-sendai.or.jp>)からもダウンロードできます。



令和4年度助成団体「向陽台ささえ愛の会」

Facebookはじめました!

泉区事務所、泉区の地域の
皆さんの活動を掲載します!
QRコードよりアクセス!



社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 泉区事務所

泉区ボランティアセンター
泉区権利擁護センター（まもりーぶ仙台）
支えあいセンターいづみ

〒981-3131 仙台市泉区七北田字道48-12 仙台市泉社会福祉センター内
TEL: 022-372-1581(代表) FAX: 022-372-8969

E-mail: izumi@shakyo-sendai.or.jp
業務時間：月～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）8:30～17:00

障害者相談支援事業所ふらっと泉 TEL: 022-771-2728

業務時間：火～日曜日 8:30～19:00（祝祭日の翌日・年末年始除く）



福祉プラザまつりの開催

地域連携と近隣住民との交流、福祉活動への理解と魅力を伝えることを目的に、福祉プラザまつりを10月8日に開催しました。2階の「ふれあいホール」では、荒町小学校スクールバンドと五橋中学校吹奏楽部、合唱部によるすてきな演奏を鑑賞できる「ふれあいミニコンサート」、「リズムネタ」「あるある探検隊」でおなじみの漫才師レギュラーの介護について笑いを交えながら分かりやすくお話しただいた「福祉講座」が行われました。

「ふれあいミニコンサート」では、時代劇メドレーや昭和歌謡メドレーなど懐かしい曲からアフリカンシンフォニー・やライオンキングなど、誰もが聞いたことのある、おなじみのある曲を演奏してもらいました。合唱部もすてきなハーモニーを聞かせてくれました。「知つておきたい介護の話」という演題で行われた「福祉講座」では、クイズや簡単なゲームを行い、笑いながら介護の大切さを学ぶ機会となりました。途中、レギュラーの二人が舞台から客席に降りて会場を沸かせる場面もあり、大いに盛り上りました。

当時は天気にも恵まれ、のべ450名の方々にご来場いただき、大変賑わい、福祉活動を理解するよい機会になりました。

その他、実施したコーナーは次の通りです。

- 1 地域の福祉活動を紹介した「地域福祉活動紹介コーナー」
- 2 下肢障害や介助犬について理解できる「福祉体験会コーナー」
- 3 パラスポートの魅力を体感できる「パラスポート体験会コーナー」



心温まるご寄附をありがとうございました (令和4年7月1日～10月31日 順不同、敬称略)

寄附金をいただいた皆様

- 佐々木茂志
- (有)ハーバーコーポレーション 亞吳屋EDEN店、亞吳屋仙台本町店
- セイコー労働組合連合会 セイコーアイヌツルメンツ労働組合 仙台支部
- ニッカウヰスキー(株)仙台工場
- (株)スマートシステム 代表取締役 石川崇
- 太田万博

■ 東泉寺

- 日本設備工業(株)東北支店 執行役員支店長 三原真一
- 南光台園芸愛好会 会長 鈴木克美
- (匿名 個人5件、団体2件)

物品をいただいた皆様

- 阿部真理
- (株)メガネの相沢 代表取締役社長 相澤久美子
- (匿名 個人5件)

発行 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2丁目12-2 仙台市福祉プラザ6階
TEL:022-223-2010(代表) FAX:022-262-1948
E-mail:hureai-net@shakyo-sendai.or.jp

次回予告 社協だよりせんだい 第17号 令和5年4月1日発行予定

ホームページはこちら

仙台市社協

検索



「社協だよりせんだい」への
ご意見・ご感想はこちらへ

